



北村 あや子 区政ニュース

がん検診 区内医療機関で実施 & 有料化の方針

現在、荒川区では区立がん予防・健康づくりセンターでがん検診事業を行っています。胃の内視鏡検査のみ個人負担 1,000 円が必要ですが基本的に無料です。

区は、2027(令和9)年度から区直営のセンターでは健診を行わず区内医療機関で実施し(下表:想定スケジュール)、2026(令和8)年度からは原則有料化(自己負担徴収)する方針と報告がありました。自己負担の金額は他区の状況を参考にするという事です。過去にも有料化の動きがありましたが区民の声で踏みとどまらせていました。



検診名	対象者	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
					完全委託
子宮頸がん	20歳以上 偶数年齢	センター・医療機関			医療機関
乳がん	40歳以上 偶数年齢	センター		センター・医療機関	医療機関
胃がん (X線)	40歳以上	センター・検診車			検討中
胃がん (内視鏡)	50歳以上 偶数年齢	医療機関			
肺がん	40歳以上	センター		センター・医療機関	医療機関
大腸がん	40歳以上	センター		検討中	
胃がん (X線)	35～39歳	実施			
胃がん リスク検査	35～60歳の 5歳刻み	実施			

がんセンターは区役所の隣にあり、遠い・不便と感じる地域の方もいらっしゃると思います。自宅近くの医療機関で健診できるようにすること、選べることは良いと思います。また、区はかかりつけ医との関係性や地域医療体制の向上を述べています。確かに効果として挙げられると思いますが、小規模クリニックには検査機器が設置されていない場合があることも大きな課題ではないでしょうか。

有料化はどうでしょうか。区は先行他区を見ると受診抑制は見られないと言いますが、受診率アップとはなっていません。また、有料にすればドタキャンが減ると言いますが、それはまた別の課題です。

先行して有料化している他区を見れば、胃の内視鏡は 1,000 円～2,000 円、肺がん(レントゲン)は 100 円～10,000 円、子宮頸がんは 500 円～1,000 円とばらつきがありますが、複数健診を受ければ数千円かかる可能性があります。命を守るための検診です。収入格差が健康格差につながらないようにすべきです。

区立がんセンターでの検診業務が終了しても、がんに関わる情報発信、早期発見早期治療の啓発、がん患者と家族への相談支援などの事業は継続していくということです。ご意見をお寄せください。

<荒川区がん予防・健康づくりセンターのこれまで>

- 1990年 10 月 15 日 財団法人荒川区がん予防センター設立
組織改正により保健衛生部庶務課から保健福祉部保健福祉計画課へ事務移管
- 2006年 3 月 31 日 財団法人荒川区がん予防センター廃止
組織改正により健康部健康推進課→健康部保健予防課の所管
- 2009年度 国の方針により女性特有がん検診の事業化を図る
- 2014年度 がん検診推進事業から働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業へ変更
- 2015年度 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業へ変更
- 2017年度 胃がん内視鏡検診を開始



【問合せ】健康部保健予防課 電話番号:03-3802-3111(大代表)

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



会場:北村あや子事務所(西尾久2-4-8 1階)TEL&FAX:03-3894-6668 **要予約**
 日々の生活、仕事、相続・・・ひとりで悩まずに相談を。 弁護士と北村がお話をうかがいます。